



上北教育事務所だより

Vol.51
令和7年3月4日

令和7年度「上北の教育」は、「わかりやすい」「伝わりやすい」表現を心掛け、実践的な情報を提供することを旨としました。4月上旬以降、当事務所ホームページからダウンロードできますので、ぜひ御活用ください。
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/ekamikita/kamikitatop.html>

令和6年度を振り返って

所長 佐藤 真理

朝、我が家の前を学校に向かう小学生たちの明るく楽しそうな声が聞こえてくると、今日も一日がんばろう、という気持ちが湧いてきます。今年度、所長という立場で授業を拝見し、子どもたちの学びに向かう姿勢、「わかった!」という声や心からの笑顔に接するたびに胸がいっぱいになり、この子どもたちの姿が教員の最高のエネルギーなのだろうと実感しました。子どもたちの疑問や発問を引き出す遣り取りや、ICTを活用するなどしたテンポのよい授業展開など、子どもたちの心身ともに健やかな成長を支える先生方の創意工夫やがんばりにいずれの学校でも感服しました。

教育事務所としても、来年度も上北の子どもたちの笑顔やそれを引き出す先生方の教育活動を精一杯支えてまいりますので、引き続き御協力くださるようお願いいたします。

次長 依藤 晶

他人のせいにはしない。それは自分がコントロールできることではないから。ではどうするか。それは自分が(相手に)何をしてあげればよかったのかを考える。つまり、自分にできることを考え、自分を変えていくことが大切。

…説教めいた話から始めてしまいましたが、これは、そういうことではありません。今年度の所長訪問を通じて、校長先生をはじめとする教職員の皆様の姿から(私が勝手に)学んだことであり、私自身が大切にしてきたことでもあります。多忙な学校現場において、子どもたちと真摯に向き合っている皆さんが見せる背中では上北の教育そのものだと感じました。

子どもたちのウェルビーイングを向上させるためには、周りにいる大人たちの力(姿)が必要です。そんな大人であり続ける教職員の皆様には本当に頭が下がるばかりです。本当にありがとうございました。

10月から1月の事業紹介

放課後児童対策支援員等研修会 (10/28: 公立小川原湖青年の家)

「今日の『楽しい』がその子の10年後の未来につながると信じて～日常の延長線上に遊びのヒントがある～」をテーマに岩手県立児童館いわて子ども森チーフプレリーダーの長崎由紀氏を講師として開催しました。「子どもが遊ぶこと」は子どもの権利です。大人はその権利をしっかりと保障してあげなければなりません。そのためにも、大人は覚悟して子どもを信じる必要があります! 「遊ぶは子どものごはんだ!」



いわて子ども森のHPものぞいてみてください! 参考になります。



冬季学校体育実技講習会 (スケート・スキー)

(12/26: YSアリーナ八戸、1/7: 七戸町営スキー場)

雨まじりの雪という天候の中、2年ぶりに実施したスキー講習会では、豊富な経験をもとにした講師の方々の丁寧な御指導により、みるみるうちに参加者のスキルアップが図られました。加えて、子どもたちへの指導のポイントも共有され、「3学期、早速子どもたちに還元したい」という声がかげられました。また、管内でスケート教室を実施する学校が増える中、スケート講習会には、上北からも多くの先生方が参加しました。次年度も多くの皆様の参加をお待ちしております。



第2回AOMORI 小・中学校外国語教育 ワークショップ

(10/31: 六ヶ所村立泊小中学校)

外国語教育における小中連携について理解を深め、中学校区で共通実践事項を決定することを目的とし、泊小学校の能登谷昂毅先生による実践発表、泊中学校田嶋啓太先生、石川雄基先生、A.L.T スルジャン・スウィット先生による授業公開、中学校区グループによる協議、という内容で開催しました。64名の先生方が参加くださいました。

参加者からは「本校でもできそうな実践の提案でありがたかった。」「言語活動を3人の指導者で見取り、適切に指導する場が素晴しかった。」「単元計画シート(※)による指導案で、目標や評価、指導計画が分かりやすかった。」「といった感想がよせられました。



おめでとうございます

六戸町立

祝 大曲小学校

早寝早起き朝ごはん 文部科学大臣表彰

グッドモーニング 朝の60分で元気をつくろう (GM60分チャレンジ)

同校は、「学校に行く60分前に起きる」という実践しやすい目標を掲げ、児童が主体的に生活習慣を見直すよう取り組んできました。また、栄養士や地域の方々による食育指導とともに、「元気に過ごすための朝ごはん」をテーマに健康会議を実施。より良い朝食メニューについても意識されるようになりました。こうした学校・家庭・地域が一体となった活動が評価され、今回の受賞につながりました。

成長の1年

初任者研修「まとめ研修」(2/21: 公立小川原湖青年の家)



初任者研修の校外研修(年間12日)の締めくくりとして、シンキングツール(マンダラチャート)を用いて「2年目以降の目指す教師像」の設定とそこに到達するための実践事項をまとめ、それをもとに2年目の抱負を100秒スピーチとして発表しました。

初任者の研修記録には「どの先生もそれぞれの個性にあふれた発表で刺激を受けた。」「教師としては欠かせない心に響くスピーチ力を自分も鍛えていかなければならないと強く感じた。」「とあり、内面をさらけ出した発表は、同期の仲間たちとよい刺激を与え合う場となっていました。



☆初任研を終えて☆

多くの皆様に御協力をいただきながら今年度の初任者研修を終えることができました。

「示範授業研修」では、野辺地町立野辺地小学校、三沢市立堀口中学校に御協力いただき、授業参観及び協議、校長講話を通して、授業づくりの基本についての知見を広げたり、教員としての生き方について考えることができました。

「特別活動研修」では、横浜町立横浜小学校、横浜町立横浜中学校に御協力いただき、よりよい合意形成を促す指導の工夫について、授業参観をもとに具体的に理解することができました。

また、「一般授業研修」では、助言者の指導のもと、授業の計画作成と実践、振り返りを行う中で、子供たちに身に付けさせたい力を明確にした単元構成、授業実践上の工夫を数多く学ぶことができました。

初任者対象の研修会、初任者への指導に御協力いただいた多くの先生方のおかげで、この1年を通して、初任者37名は大きく成長することができました。今後は、自ら学びの機会を得ながら思い描いた教師像を目指していく道のりです。2年目のフォローアップ研修も含め、皆様からの厳しくも温かい励ましをどうぞよろしく願います。